

尚徳寮

平成30年5月29日

鳥取大学附属中学校

No. 2



これは、昨年度後期から引き続き掲げている生徒会のスローガンです。サブテーマにある「種・つぼみ・花」とは植物の成長を表しています。生徒404名の花が開花し、附属中学校という花畑でいろいろな野花が咲く環境づくりを目標に、「あいさつの質の向上」と「公共（交通機関）の場面でのマナーの向上」等に取り組んでいきます。この2つのことを実現させたなら、よりよい附属中になること間違いなしです。スローガンを具現化させるように、活動方針に沿って、継続的な取り組みを期待しています。



あいさつ運動・朝掃除を実施しています。

朝7:50から8:00まで生徒会執行部を中心にあいさつ運動を実施しています。並行して生徒玄関をボランティアの生徒が清掃しています。どちらの活動も附属中では伝統になっています。ちょうど多くの生徒が登校する時間と重なっており、登校してくる生徒たちと掃除をしている福祉委員の姿が朝の光景の一つになっています。これからも継続して取り組んでいきます。



朝のあいさつ運動



生徒玄関で朝掃除



実習生も一緒に朝読書

応用実習を実施しました。

5月9日（水）から22日（火）の2週間、27名の鳥大4年生が教育実習を行いました。教育実習の場を提供することは、附属中学校の使命の1つです。指導教員の指導の下に、実習生たちは真摯な気持ちで前向きに取り組んでいました。中学生も実習生の来校を自然体で受け入れていました。実習生の直向きな姿に共感し、自分たちも向上しようとする生徒を育てていきたいと思えます。

2回目の実習は6月11日（月）から22日（金）の2週間で鳥大の3年生19名が実習を予定しています。



応援団、応援練習開始！

東部総体を間近に控え、応援団員の応援練習を始めました。校歌、応援歌、三三七拍子などをまずは応援団員自らが自信を持ってできるようになり、全校生徒をしっかりリードしていただきます。

2回の全校練習を経て、6月6日（水）には激励会を迎えます。校歌を大きな声で歌ったり、手拍子を打つ活動などを通して、附属中学校全体としての一体感を体感するとともに、代表生徒の附属中学校代表としての自覚が高まり、士気が高まることを期待します。

東部総体・サマーブラスコンサート

～熱い思いと

冷静な試合運び・演奏を

いよいよ東部総体、サマーブラスコンサートがやってきます。昨年の夏に新チームや新メンバーを結成以来、秋の新人戦や冬から春にかけての地道な練習、練習試合等を経て、いよいよ本番です。絶対に勝つという強い気持ちと、気持ちを空回りさせない冷静さを持って試合に臨んで欲しいと思います。頑張れ、附中生！

（試合・演奏日程等については顧問から出される案内文書をご参照ください。）

教育懇話会執行委員の皆さんを紹介します。

1年間よろしく願いいたします。

役職（専門部）	氏名
会長	西川 和正
副会長	池田 光之
副会長	山口 清美
監査	菖蒲 純子
監査	木下 潤一
幹事	星山 君泰
幹事	田淵 恭子
会計	浅井美奈子
生活部長	山根 大樹
文化部長	松本可奈子
研修部長	中川 貴禎



敬称略

「ふれあいピック」に参加しました！

鳥取大学附属特別支援学校の児童生徒と運動会での交流を通して、障がいのある人に対する理解を深め、共によりよい社会をつくっていかうとする心情を育む契機とすることをねらいに、5月12日（土）に福祉委員会の生徒が「ふれあいピック」に参加しました。附属小2年生といっしょに交流種目に参加しました。天候にも恵まれ、笑顔あふれる「ふれあいピック」となりました。



参観日の期日を変更します。

11月23日（金）に予定していた参観日を、当日お願ひしています講師のご都合により、24日（土）に変更します。ご理解の程よろしくお願ひいたします。